1 題材について

(1) 生徒観

9月初めに第1学年を対象にアンケートを行い、鑑賞の授業に対する意識や能力についての実態把握を行った。「鑑賞の授業は好きですか」という問いに対し94%の生徒が肯定的な回答をしている。「曲を聴いて感じ取ったことや想像したことについて音楽を形づくっている要素を用いながら言葉で表すことができますか」の問いには75%の生徒が肯定的な回答をしている。この2つのアンケートにおける数値の差は、鑑賞の授業は好きなものの、感じ取ったことや想像したことを、音楽を形づくっている要素を用いながら表現することに、苦手意識をもっている生徒がいることを表していると考えられる。実際、自由記述欄には「自分の感じたことを、どのように表現したらよいか分からない」「音楽の要素をどのように使ったらよいか分からない」と記入していた生徒もいた。そのため、音楽を形づくっている要素についてのアンケートを行った。8つの要素について、「知っている」「聞いたことがある」「知らない」の3項目で回答させた。

	音楽の要素	知っている	聞いたことがある	知らない
1	音色	94%	3%	3%
2	リズム	94%	6%	0%
3	速度	94%	6%	0%
4	旋律（音の高さ）	81%	16%	3%
5	テクスチャ	4%	48%	48%
6	強弱	94%	6%	0%
7	形式	52%	35%	13%
8	構成	55%	35%	10%

「音色」「リズム」「速度」「旋律」「強弱」については、高い割合で知っていることが分かる。一学期に行った「春」（ヴィヴァルディ作曲）の鑑賞において、音楽を形づくっている要素を用いて感じ取ったことを表現できている生徒の割合は77%であった。「旋律」「強弱」「速度」を理由に「だからこう感じた」と記入している生徒が多かったが、ほとんどの生徒が一つの要素のみに注目し答えていた。こうしたことから、音楽を形づくっている複数の要素を知覚・感受することについては課題が見られる。

(2) 題材観

本題材は、中学校学習指導要領第1学年「B鑑賞」（1）ア「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。」をねらいとして、設定した。〔共通事項〕については、音色、リズム、旋律、強弱を扱うものとする。

「魔王」は、ゲーテの詩に触発されたシューベルトが、18歳の時に作曲した歌曲である。劇的な詩と一人の歌い手が4人の人物を歌い分ける表現力、ピアノ伴奏の効果等、音楽の様々な要素を感じ取りやすい魅力ある楽曲である。そのため、詩から思い浮かぶイメージと音楽を形づくっている要素との関連が分かりやすい楽曲になっている。本楽曲の鑑賞を通して、場面の描写や登場人物の心情を想像しながら、詩と音楽を形づくっている要素とのかかわりを感じ取る能力を身に付けることができると考え、本題材を設定した。

(3) 指導観

本題材では、詩の内容と音楽を形づくっている要素の働きとのかかわりを感じ取り、音楽のよさや美しさを味わわせることを目標とする。この題材の中で、楽曲の特徴として特に学習させたいことは①子どもの部分の音は、曲が進行し後半に行くにしたがって高くなり、楽曲の緊張感を高めていく効果がある点②魔王の部分の旋律や声の音色と、詩の内容との関わりについて③伴奏の役割についての3点である。そのため、鑑賞する際は、「声の音色」「強弱」「旋律」「リズム」の4つに聴き取る要素を絞り、「この要素のこのような働きによってこの雰囲気が醸し出される」といった生徒の思考を促す学習活動を設定する。また、題材の導入段階では、曲名をふせていきなりドイツ語で歌われた原曲を聴かせ、1人の歌手が複数の登場人物を歌い分けているというこの曲の魅力に気付かせ、「詩と音楽との関わり」を探る活動へとつなげていきたい。「まとめ・創造・表現」の段階においては、『魔王』宣伝部長」という役割を与え、CDを買いに来たこの曲を知らないお客さんに対して、この楽曲を宣伝するチラシを作成するというパフォーマンス課題を実施する。『魔王』の中で、一番聴いてほしい部分の楽譜を貼り付け、なぜ、そこがおすすめの部分なのかを音楽を形づくっている要素に触れながら、お客さんが買ってみたいと思うような説得力のある内容を伝えられる活動を設定する。この活動を通して、この曲のよさや美しさを味わわせるとともに、「相手意識をもって自分の考えを相手に伝えていく力」の育成を図りたい。

2 題材の目標

- 「魔王」の音楽を形づくっている「音色」、「強弱」、「旋律」、「リズム」や構造と曲想とのかかわりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。
- 知覚・感受しながら「魔王」の音楽を形づくっている「音色」、「強弱」、「旋律」、「リズム」の要素や構造とのかかわりを感じ取って聴き、解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを味わう。

3 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
①「魔王」の音楽を形づくっている音色、強弱、旋律、リズムや構造と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	①「魔王」の音楽を形づくっている音色、強弱、旋律、リズムの要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受している。 ②知覚・感受しながら、「魔王」の音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

4 本題材において育成しようとする資質・能力との関わり

「間違いをおそれず、自分の考えを相手に伝え、前向きに活動する生徒」(ゴールの生徒の姿)

【スキル】課題発見・解決力

- ①工夫された課題の提示によって、興味・関心を持ち、課題を自らのものと捉える。
- ②既習の知識や経験を結び付け、解決の見通しをもつ。

【意欲・態度】主体性・積極性

- ①他者と意見交換しながら答えのない問題に取り組む意欲をもつ。

【価値観・倫理観】自己理解・自らへの自信

- ①解決された内容について、相手意識をもって、自分の考えを相手に伝える。

5 指導と評価の計画（全4時間）

時間	学習内容	評価		
		関鑑	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
1	<p>○楽曲全体を聴く。(ドイツ語)。 ○感じ取ったことをワークシートに記入し、発表する。 ・どんな感じ?それはどうして? ・タイトルをつけるとしたら?なぜ、そのタイトルに? ・何人の人が歌っている? →一人で歌っていることを映像で確認する。 ○登場人物は何人か考えながら、日本語版を聴く。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #fff9c4; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>一人の歌手が4人の登場人物を歌い分けていることを知る。(この曲の魅力・面白さ) →「詩と音楽との関わり」を発見する活動へとつなげる。</p> </div> <p>○楽曲について知る。 ・曲名について ・作詞者・作曲者について ・歌詞の内容について 〔ドイツ語の意味について説明 教科書を黙読 → 4人で役割演技〕 ○それぞれの登場人物の様子や気持ちをワークシートに記入する。→発表する。 ○最初の伴奏はどんな様子を表しているか考える。→馬のひづめの音 ○歌詞の情景を想像しながら、鑑賞する(日本語)。 ○今後の授業の流れについて知る。 (パフォーマンス課題の提示)</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #cccccc; padding: 5px; margin: 10px 0; width: fit-content;"> <p>課題の設定</p> </div>	◎	<p>【音楽への関心・意欲・態度】 「魔王」の音楽を形づくっている音色、強弱、旋律、リズムや構造と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 (行動観察・ワークシート)</p>	<p>【スキル】 課題発見・解決力① (行動観察・ワークシート)</p>
<div style="border: 1px solid black; background-color: #e1f5fe; padding: 10px;"> <p>あなたは『魔王』宣伝部長です。「宣伝部長」の仕事は、CDを買いに来た『魔王』の曲を知らないお客さんに対して、このCDを買いたいと思わせるようなチラシを作ることです。魅力的なチラシを作成し、この曲の良さや面白さを具体的に伝えましょう。</p> </div>				

2	<p>情報の収集</p> <p>○それぞれが「宣伝部長」になり、CDを買いたくなるようなチラシを作ることを確認する。 →そのためには、この曲の魅力を知ることが必要であることを確認する。</p> <p>○前時の時間に学習した最初の伴奏の部分について、振り返る。</p> <p>○作曲家シューベルトはこの曲に様々な工夫をしており、他の工夫点を見付ける。</p> <p>○前時に学習したそれぞれの登場人物の気持ちや様子を表すために、作曲者が工夫した点を見付ける。</p> <p>○「魔王」を2回聴く（日本語）。 ・声の音色 強弱 旋律 リズムについて聴き取り、太枠の部分についてワークシートに記入する。</p> <p>整理・分析</p> <p>○4人グループで意見交流する。</p> <p>○全体でまとめる。</p> <p>○普段の生活の中で、声の高さが「低」→「高」、声の強弱が「弱」→「強」になる場面（ことば）を考える。 →子どもの心情を表現するために、作曲者が工夫していることを、自分の生活と重ね合わせながら考える。</p>		<p>◎ 【音楽表現の創意工夫】 魔王」の音色、強弱、旋律、リズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 (行動観察、ワークシート)</p>	<p>【スキル】 課題発見・解決力② (行動観察・ワークシート)</p>
3	<p>○前時に学習したことを基に、「宣伝部長」として、CDを買いたくなるようなチラシを作成する。 →「タイトル」「おすすめの部分の楽譜となぜその部分なのか」「買いたくなるような文章やフレーズ」の3つを入れることを確認する。 →貼り付けた「楽譜」について、なぜその部分を選んだのか、音楽的な特徴やよさ、面白さを書くこと。 →色や絵を加えて、魅力あるチラシにする。</p>	○ ◎	<p>【鑑賞の能力】 知覚・感受しながら、「魔王」の音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (行動観察・作品)</p>	<p>【意欲・態度】 主体性・積極性① (行動観察)</p>

4	<div data-bbox="183 96 491 152" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> まとめ・創造・表現 </div> <div data-bbox="183 185 743 519" style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> パフォーマンス課題： あなたは『魔王』宣伝部長です。「宣伝部長」の仕事は、CDを買いに来た『魔王』の曲を知らないお客さんに対して、このCDを買いたいと思わせるようなチラシを作成することです。魅力的なチラシを作成し、この曲の良さや面白さを具体的に伝えましょう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4人グループになる。 ○ 一人ずつチラシを使ってプレゼンテーションする。 ○ チラシに貼り付けた楽譜の音楽を聴きながら数人が全体でプレゼンテーションする。 ○ どの『宣伝部長』のチラシとプレゼンテーションが一番CDを買いたくなったか、理由とともにワークシートに記入する。（「音楽の価値に迫るよさ」と「プレゼンテーション力のよさ」の両面を評価） <div data-bbox="183 1016 368 1077" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> 振り返り </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「魔王」（ドイツ語）を鑑賞する。 ○ この曲のよさや面白さについて振り返る。また、この鑑賞を通して学んだことを記入する。 ○ 「魔王」ソプラノ版を映像で見る。 		<ul style="list-style-type: none"> ◎ 【鑑賞の能力】 知覚・感受しながら、「魔王」の音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 （行動観察・作品・ワークシート） 	<p>【価値観・倫理観】 自己理解・自らへの自信① （行動観察・ワークシート）</p>
---	---	--	--	--

ま と め	まとめ：4人の登場人物の心情を、音色の変化や伴奏の効果を感じ取りながら、鑑賞することができた。		
	○振り返りをする。【WS2】 ○今後の授業の流れを知る。	⑦ ③	・ワークシートに記入させる。 ・学習の最後に「魔王」の CD を宣伝するチラシを作ること を知らせる（パフォーマンス課題）。

7 準備物

テレビ、パソコン、DVD、CD、ワークシート

8 板書計画

めあて 詩の内容を理解し、場面を想像しながら鑑賞しよう。

「どんな感じがしたか？」 不気味 恐ろしい 何か近づいてくる
理由：旋律が低かったら
叫んでいるように聴こえたから

「タイトルをつけるとしたら？」 恐怖 復讐 暗闇

「何人で歌っているか？」 一人 二人
↓
○では、登場人物は何人？そして誰？
語り手 父 子 魔王

○何から想像したか？
歌詞 歌い方 これからの学習で探っていこう！

今日のポイント	語り手	父	子	魔王
	物語の情景を説明	子どもを落ち着かせようと している。なだめている。	おびえている。 恐れている。	優しく誘う ↓ おどす

まとめ 4人の登場人物の心情を、音色の変化や伴奏の効果を感じ取りながら、鑑賞することができた。

6 本時の学習（2 / 4 時間）

(1) 本時の目標 「魔王」の音楽を形づくっている音色，強弱，旋律，リズムを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気，詩の内容と関わらせながら感じ取ることができる。

(2) 本時の展開

	学習内容	授業システム	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆）	評価規準 教科の指導事項（○） 資質・能力（★） （評価方法）
導入	○前時に学習した始めの伴奏の部分について振り返る。 ○本時のめあてを確認する。	①②③ ④	◆スライドを使って，視覚的支援を行う。 ・作曲者は，前奏以外にも様々な工夫をしており，他の工夫点を見付けることを知らせる。	
	めあて：詩と音楽の関わりを感じ取り，作曲者の工夫点を発見しよう。			
	○授業の流れを確認する。			
展開	○楽曲（日本語）を2回聴き，シューベルトが工夫した点を見付け，ワークシートに記入する。【WS2】 1回目→声の音色，強弱に注目 2回目→旋律，リズムに注目	⑤	◆スライドを使ってそれぞれの要素について説明し，どのような表現があるか例を示す。 ・それぞれの人物について，生徒の理解しやすい順に扱っていく。 ・最初は，音に集中させるため，楽譜を見ずに鑑賞させる。	○【音楽表現の創意工夫】 「魔王」の音色，強弱，旋律，リズムを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受している。 （行動観察，ワークシート） ★【スキル】課題発見・解決力② 既習の知識や経験を結び付け，解決の見通しをもつ。 （行動観察・ワークシート）
	○4人グループで意見交流をする。 ○グループごとに発表し，全体でまとめる。 ○普段の生活の中で，声の高さが「低」→「高」や，声の強弱が「弱」→「強」になる場面（ことば）を考えさせる。	⑥	・子どもの心情を表現するために，作曲者が工夫していることを自分の生活と重ね合わせながら考えさせる。	
まとめ	まとめ：シューベルトが登場人物の心情やその変化を，旋律や強弱の変化で表現していることがわかった。作曲者の工夫点を発見することができた。			
	○振り返りをする。	⑦⑧		
	○次時の学習内容を知る。	③		

7 準備物

テレビ, パソコン, CD, ワークシート

8 板書計画

めあて

詩と音楽の関わりを感じ取り, 作曲者の工夫点を発見しよう

今日のポイント

手がかりとなる音楽の要素

音色
強弱
旋律
リズム

	ピアノの前奏	語り手	父	子	魔王
様子や気持ち	馬が走る ひづめの音	物語の情景を 説明	子どもを落ち着 かせようとなだ めている。	おびえている。 助けてほしい。 「お父さん」	優しく誘う ↓ おどす
音色		落ち着いた声	穏やかな声	鋭い声	明るい声 →不気味な声
強弱				弱→強	弱→強
旋律				音が段々高く なっている。	
リズム	一定の同じリズム 弾むようなリズム				

怖さが増している様子
をあらわしている。

生活の中で「弱」→「強」
「低」→「高」になる場面や
ことばを考えてみよう。

場面: 怖いとき 驚いたとき うれしいとき

ことば: 「助けて」 「ほんとに!？」 「キャー」

まとめ

シューベルトが登場人物の心情やその変化を, 旋律や強弱の変化で表現していることがわかった。作曲者の工夫点を発見することができた。

6 本時の学習（3／4時間）

(1) 本時の目標 学習を振り返りながら、楽曲の特徴やよさ、面白さを紹介する「魔王」のチラシを作成することができる。

(2) 本時の展開

	学習内容	授業システム	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆）	評価規準 教科の指導事項（○） 資質・能力（★） （評価方法）
導 入	○「宣伝部長」とはどんな仕事をする人か考えさせる。 ○本時のめあてを確認する。	①②③ ④		
	めあて：「『魔王』宣伝部長」として、曲のよさや面白さを伝えよう。			
	○チラシ作成の見通しをもつ。 ○次の時間には、実際にチラシを使って「宣伝部長」として、プレゼンテーションすることを教える。		・事前にゴールイメージをもたせ、より質の高いチラシを作ろうとする意欲及び今後の見通しをもたせる。	
展 開	○前時で学習したことを思い出しながら、楽曲（日本語）を鑑賞する。 ○「『魔王』宣伝部長」として、CD を買いに来た『魔王』の曲を知らないお客さんに対して、この曲のCD を買いたくなるようなチラシを作成する。	⑤	・「タイトル」「おすすめの部分の楽譜と、なぜその部分を選んだ理由（音楽的な特徴やよさ、面白さ）」「買いたくなるような文章やフレーズ」の3つを入れることを確認する。 ・作成中も『魔王』のCD を流し、音で確認しながら作業させる。 ◆これまでの学習を振り返らせ、どんなところが気に入っているか、それは音楽がどのようになっているからかを丁寧に引出し、作成の見通しをもたせる。	○【鑑賞の能力】 知覚・感受しながら、「魔王」の音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 （行動観察・作品） ★【意欲・態度】主体性・積極性 ①他者と意見交換しながら答えのない問題に取り組む意欲をもつ。 （行動観察）
ま と め	まとめ：「『魔王』宣伝部長」として、『魔王』が1人の歌手によって、4人の人物を歌い分けていることや、ピアノ伴奏も情景や登場人物の心情を表現していること等、他の楽曲にはない魅力を伝えることができた。			
	○次時の学習内容の確認をする。	⑦⑧ ③		

7 準備物

CD 楽譜 チラシの紙 教師の作ったチラシ

8 板書計画

めあて	『魔王』宣伝部長として、曲のよさや面白さを伝えよう。
宣伝部長とは・・・商品などのよいところを売り込む人、宣伝する人 例えばどんな人がいる？	
今日のポイント	
○参考作品	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
まとめ	『魔王』宣伝部長として、『魔王』が1人の歌手によって、4人の人物を歌い分けていることや、ピアノ伴奏も情景や登場人物の心情を表現していること等、他の楽曲にはない魅力を伝えることができた。

6 本時の学習（4 / 4 時間）

(1) 本時の目標 「魔王」の音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりから生まれるよさや面白さを伝えるために、チラシを使って友達と交流し合ったり、味わって聴いたりする。

(2) 本時の展開

	学習内容	授業システム	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆）	評価規準 教科の指導事項（○） 資質・能力（★） （評価方法）
導 入	○本時のめあてを確認する。	①②③ ④		
	めあて：友達のプレゼンを聴き、『魔王』の新たな魅力を味わって聴こう。			
展 開	○授業の流れを確認する。			
	○宣伝をする時に大切なことを考え、全体で確認する。 ○効果的な宣伝方法を考える。 ○4人グループになり、一人ずつチラシを使って、曲の宣伝をする。 ○何人かの生徒が全体で発表する。 ○どの『宣伝部長』のチラシとプレゼンテーションが一番CDを買いたくなかったか、理由とともにワークシートに記入する。【WS3】	⑤ ⑥	・音楽的な特徴やよさ、面白さを伝えること、そのためには、声の大きさや表情、話し方等、プレゼンテーション力が必要なことを全体で確認しておく。 ・確認事項①一人1分間 ②チラシをファイルに挟む ③体の向き・立ち位置 ④自己紹介 ⑤拍手 ◆実際にチラシに張り付けた楽譜の音楽を聴かせながらプレゼンテーションさせる。 ・ワークシートには、「音楽の価値に迫るよさ」と「プレゼンテーション力のよさ」の両面を評価する。	★【価値観・倫理観】 自己理解・自らへの自信① 解決された内容について、相手意識をもって、自分の考えを相手に伝える。 （行動観察・ワークシート） ○【鑑賞の能力】 知覚・感受しながら、「魔王」の音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 （行動観察・作品・ワークシート）
ま と め	まとめ：シューベルトが登場人物一人一人の心情を、声の音色の違いや強弱、音の高さによってたくみに表現していることを、友達のプレゼンを通して新たに感じ取り、「魔王」を味わって聴くことができた。			
	○「魔王」（ドイツ語）を聴く。 ○振り返りをする。【WS4】 ○「魔王」ソプラノ版をDVDで見る。	⑦⑧ ③	・曲のよさを伝えるために工夫したことは何か、また、最初に鑑賞した時と聴き方がどう変化したか記入させる。	

7 準備物

CD, ワークシート, ストップウォッチ

8 板書計画

めあて 友達のプレゼンを聴き、『魔王』の新たな魅力を味わって聴こう。

音楽の価値に迫るよさ
+
プレゼンテーション力のよさ

今日のポイント

宣伝するときに必要なことは? 声の大きさ 表情 ゆっくり話す はっきり話す
↓
プレゼンテーション力

○授業の流れ 練習⇒4人グループで一人ずつ宣伝活動⇒何人か全体で宣伝活動⇒振り返り

まとめ シューベルトが登場人物一人一人の心情を、声の音色の違いや強弱、音の高さによってたくみに表現していることを、友達のプレゼンを通して新たに感じ取り、「魔王」を味わって聴くことができた。